

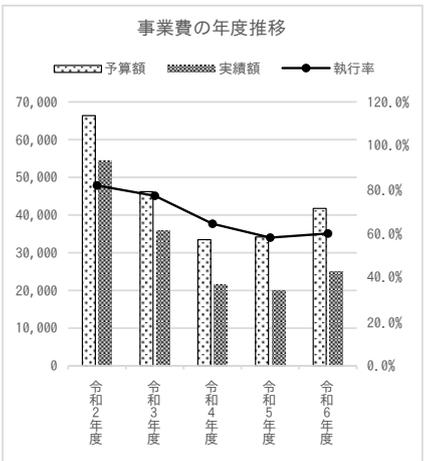
令和7年度 杉並区施策評価シート 1

施策	04	地域の魅力あふれる多心型まちづくり
分野	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	市街地整備課	関係課

施策目標	○荻窪駅周辺において、歴史・文化等の潜在能力を十分生かし、にぎわいと住環境が調和したまちづくりが進んでいます。 ○各地域の特色や魅力を生かしたまちづくりが進み、誰にとっても居心地がよく、にぎわいがあふれ、出かけたいまちになっています。 ○区民等による主体的なまちづくり活動が活発に行われることにより、住宅都市としての魅力や価値が更に高まっています。
------	--

活動指標	指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度	
									目標値	
活動指標	荻窪駅周辺都市再生事業に関する懇談会・意見交換会等の開催数	まちづくりニュース等の発行回数及びまちづくり周知イベントの開催数の合計	回	計画		5	4	3	令和12年度	
				実績	13	4	4	-		
				達成率	-	80.0%	100.0%	-		
	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数	ワークショップやオープンハウス等の開催数	回	計画	5	5	5	13		
				実績	6	10	8	-		
				達成率	120.0%	200.0%	160.0%	-		
成果指標	普段利用する駅周辺の満足度	区民意向調査による	%	計画	73.3	73.6	74	74.3	令和12年度	
				実績	72.4	72.3	70.3	-	76%	
				達成率	98.8%	98.2%	95.0%	-		
	分類	利用者満足度指標								
	自宅周辺のまちづくりに満足する区民の割合	区民意向調査による	%	計画	79.6	79.8	80	80.3	令和12年度	
				実績	78.6	78.1	82.1	-	82%	
				達成率	98.7%	97.9%	102.6%	-		
	分類	利用者満足度指標								
					計画					
					実績				-	
					達成率	-	-	-	-	
	分類									
					計画					
					実績				-	
					達成率	-	-	-	-	
	分類									
					計画					
					実績				-	
達成率					-	-	-	-		
分類										
				計画						
				実績				-		
				達成率	-	-	-	-		
分類										

事業費	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			予算額	66,374	46,208	33,479	34,191	41,753
事業費	千円	実績額	54,436	35,736	21,629	19,939	25,125	-
		執行率	82.0%	77.3%	64.6%	58.3%	60.2%	-
人件費	千円	予算額	100,460	101,300	105,709	104,734	75,569	107,926
		実績額	102,603	103,622	115,630	107,797	100,459	-
人件費	千円	執行率	102.1%	102.3%	109.4%	102.9%	132.9%	-
		予算額	166,834	147,508	139,188	138,925	117,322	136,419
総事業費	千円	実績額	157,039	139,358	137,259	127,736	125,584	-
		執行率	94.1%	94.5%	98.6%	91.9%	107.0%	-
国・都からの補助金等	千円	予算額	0	0	0	1,000	2,600	0
		実績額	0	0	1,500	600	2,100	-
国・都からの補助金等	千円	執行率	-	-	-	60.0%	80.8%	-
		予算額						
総事業費伸び率	%	実績額		-11.6%	-5.6%	-0.2%	-15.6%	16.3%
		実績額		-11.3%	-1.5%	-6.9%	-1.7%	-
人件費比率	%	予算額	60.2%	68.7%	75.9%	75.4%	64.4%	79.1%
		実績額	65.3%	74.4%	84.2%	84.4%	80.0%	-



**特記事項**  
 <前年度事業費から10%以上増となった主な理由> 荻外荘公園開園に合わせ、荻窪駅周辺の回遊性向上のために観光案内板及び路面案内サインの整備工事を発注/荻窪のまち歩きイベントを業務委託(新規)/杉並区阿佐ヶ谷駅北東地区地区公民連携まちづくりの取組方針策定等に関する支援業務委託(新規)/あさがやまちづくりセッション開催に伴う進行管理等業務委託(新規)/蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画道路の拡幅用地買収2件等<予算執行率が90%未満となった主な理由> 観光案内板及び路面案内サインの設置で設計委託費及び工事落札の差金が発生/公民連携まちづくり取組方針策定等支援業務委託を単年度で計画していたものが、2箇年に渡るように変更/まちづくり活動助成の申込みがあった団体数が計画より少なかった等<活動指標の見直し> 「懇談会・意見交換会等の開催数」が2項目あったため、1つにまとめ、新たに「普及啓発活動等の回数」を追加

<p>施策の成果</p>	<p>荻窪駅周辺では、荻外荘公園開園に合わせて、荻窪駅南側や荻窪三庭園に荻窪駅周辺の観光案内板を設置するとともに、荻窪駅から荻窪三庭園等までの道路に路面ステッカー等の案内サインの整備を行い、地域の回遊性の向上を図りました。また、SNSを活用したフォトラリーを開催し、まちの魅力発信を行いました。さらに、駅からバスのりばに至るシームレスな案内・誘導のため、鉄道事業者による荻窪駅構内図やエレベーター周りの案内サインの整備に協力し、利便性向上を図りました。</p> <p>阿佐ヶ谷駅等周辺では、新たな対話の場として「あさがやまちづくりセッション」を開催し、参加者のまちづくりへの興味・関心を高める契機を作りました。阿佐ヶ谷駅北東地区では、公民連携まちづくりとして、阿佐谷北東エリアまちづくり協議会（エリアプラットフォーム）が発足し、本地区の将来像、防災やみどり、にぎわい創出等に関する基本方針や取組内容等についてまとめる「未来ビジョン」の骨子案を作成しました。中杉通り沿道では、安全・快適な歩行者・自転車空間の改善を図るため、パーキングメーターの利用実態調査を行うとともに、駐車場を整備した場合のパーキングメーター撤去可能範囲について検討を行いました。</p> <p>富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、令和5年度策定の「富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針」に関するオープンハウスを開催し、まちの将来像や目標、取組等について周知し、意見を伺いました。</p> <p>地区計画区域内では、建築計画が地区計画の制限に適合しているか確認することで、良好な住環境の形成を誘導しました。</p> <p>まちづくり活動助成やコンサルタント派遣を利用した団体からは、イベントの開催や冊子の作成、他団体や中高生との共同活動による多世代交流など、地域での活動の幅を広げることができたとの報告があり、区民等主体のまちづくり活動が実施されています。</p>
--------------	---

<p>課題の分析</p>	<p>誰にとっても、魅力的で居心地が良く、出かけたくなるまちづくりを推進するためには、区民等による主体的なまちづくりへの機運を醸成する必要があります。</p> <p>区内最大の交通結末点である荻窪駅周辺では、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題を抱えており、区が住宅都市としての価値を更に高めていくためには、その潜在能力を十分に生かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを推進する必要があります。</p> <p>各地域の課題解決や住環境維持のため、住民発意によるまちづくりの取組の増加が今後も予想されます。地区計画などの各種まちづくり制度や公民連携まちづくりの取組、エリアマネジメントの仕組などを活用し、地域の特性を踏まえつつ、まちづくりの課題解決や魅力向上を図る必要があります。</p> <p>まちづくり団体の活動を区民に広く周知し、活動を継続的なものにするためには、区による効果的な広報やまちづくり活動への支援のあり方に課題があると考えています。今後は、区もまちづくり団体と積極的に意見交換等を行いながら、まちづくり団体への活動支援と効果的な支援制度のあり方について検討し、より充実した住民主体のまちづくり活動となるよう支援していく必要があります。</p>
--------------	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 ※第2段階評価時に入力</p> <p>今後の進め方 ※第2段階評価時に入力</p>
--------------------------	--

令和7年度 杉並区施策評価シート 1

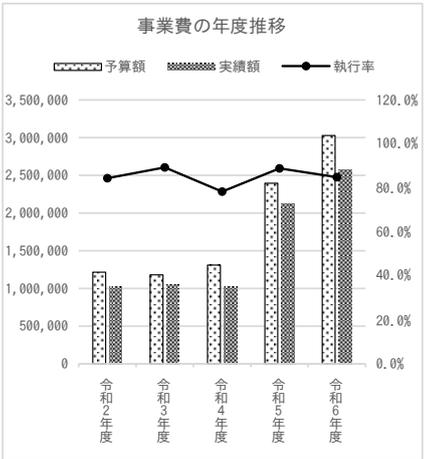
施策	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備
分野	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 市街地整備課、土木計画課、土木管理課、土木事務所

**施策目標**

- 鉄道の連続立体交差化や各地域の実情や特性を踏まえた駅周辺道路・広場の整備が行われることにより、踏切による交通渋滞・事故や地域分断の解消、及び円滑な交通ネットワークの形成が進んでいます。
- 都市計画道路や生活道路の整備が着実に進むことによって、まちの防災性や安全性が高まり、移動しやすいまちになっています。
- 都市基盤整備の基礎となる区内の土地や建物などの情報が着実に整備され、都市基盤の整備や大規模災害への備えが進んでいます。
- 地域の特性や多様な地域住民の意見を踏まえ、区民相互及び区民と区の対話に基づくまちづくりが進んでいます。

指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度
								目標値
活動指標	安全対策路線の整備延長	km	計画	1.5	1.7	2.5	1.5	令和12年度
			実績	1.5	2.3	2.5	-	
			達成率	100.0%	135.3%	100.0%	-	
	補助132号線の用地取得率（面積）	%	計画	34	33	42	42	
			実績	14.2	23.5	28.5	-	
			達成率	41.8%	71.2%	67.9%	-	
	補助221号線の用地取得率（面積）	%	計画		4.5	12	22	
			実績		4.1	5.1	-	
			達成率	-	91.1%	42.5%	-	
成果指標	身近な道路が安全で快適だと思う区民の割合	%	計画	78	78	77	77	令和12年度
			実績	75.9	78	78.7	-	
			達成率	97.3%	100.0%	102.2%	-	
	分類	区民満足度指標						80%
	都市計画道路（区道）完成延長	m	計画	7,022	7,022	7,022	7,022	令和12年度
			実績	7,022	7,022	7,022	-	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	分類	行政サービス成果指標						8,178m
				計画				
実績							-	
達成率				-	-	-	-	
分類								
			計画					
			実績				-	
			達成率	-	-	-	-	
分類								
			計画					
			実績				-	
			達成率	-	-	-	-	
分類								
			計画					
			実績				-	
			達成率	-	-	-	-	
分類								

	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			事業費	千円	予算額 1,216,016 実績額 1,026,423 執行率 84.4%	1,180,610 1,054,506 89.3%	1,310,338 1,026,198 78.3%	2,395,512 2,129,079 88.9%
人件費	千円	予算額 162,013 実績額 160,309 執行率 98.9%	160,306 195,338 121.9%	205,322 212,260 103.4%	195,639 205,139 104.9%	184,126 267,576 145.3%	260,762 -	
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額 1,378,029 実績額 1,186,732 執行率 86.1%	1,340,916 1,249,844 93.2%	1,515,660 1,238,458 81.7%	2,591,151 2,334,218 90.1%	3,212,155 2,838,170 88.4%	3,798,514 -	
国・都からの 補助金等	千円	予算額 4,500 実績額 4,010 執行率 89.1%	1,000 1,000 100.0%	3,500 2,850 81.4%	165,750 160,401 96.8%	287,950 286,331 99.4%	4,972 -	
総事業費伸び率 (予算額、実績額の 対前年度比)	%	予 算 額	-	-2.7%	13.0%	71.0%	24.0%	18.3%
		実 績 額	-	5.3%	-0.9%	88.5%	21.6%	-
人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予 算 額	11.8%	12.0%	13.5%	7.6%	5.7%	6.9%
		実 績 額	13.5%	15.6%	17.1%	8.8%	9.4%	-



**特記事項**

道路の路面改良事業について実行計画に基づき道路整備面積が増加したほか、上井草駅北口駅前広場等整備事業により先行買収していた用地を杉並区土地開発公社から買い戻す費用を計上したことなどに伴い、令和6年度事業費は令和5年度事業費と比べて大幅な増となった。また、道路の路面改良事業における工事落札差金が多く発生したことや、京王線連続立体交差事業の用地取得の難航により建設事業負担金が不用となったことなどから、令和6年度の予算額と実績額に大幅な差が生じた。

<p>施策の成果</p>	<p>令和6年度末の都市計画道路事業用地の取得率は面積ベースで、西荻窪の補助第132号線が28.5%、高円寺の補助第221号線が5.1%となりました。また、都市計画道路の役割や整備した場合の効果を分かりやすく区民等に知っていただくため、未整備の都市計画道路を対象に区独自の指標に基づき検証を行ったほか、現在事業中の西荻地域と高円寺地域、都事業である中杉通りの延伸計画がある阿佐谷地域それぞれを整備した場合の効果のうち、定量化が可能な項目について可視化しました。</p> <p>都市計画道路周辺地域において、区民が主体的にまちづくりに取り組むための場として（仮称）デザイン会議を設置し、西荻窪地域・高円寺地域では3回、南阿佐ヶ谷地域では1回の会議を開催しました。</p> <p>西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業及び上井草駅北口駅前広場等整備事業については、用地補償説明会を令和6年12月に開催し、関係地権者の意向等の把握に努めました。また、下高井戸駅周辺において「街づくり懇談会」を世田谷区と連携して3回開催しました。さらに、下高井戸駅北口杉並街区の地権者などから構成される「まちづくり準備会」では、まちづくり手法の検討等を行い、区はその活動を支援しました。</p> <p>都市基盤の整備は、区民の生活に大きな影響を及ぼす可能性があることから、各事業の推進に当たっては、「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる、区民主体のまちづくりの実現を図るため、綿密に区民との対話や情報提供を行いました。</p>
--------------	--

<p>課題の分析</p>	<p>都市計画道路については既に事業着手している路線において、現在、関係権利者との折衝を経て事業用地の取得を進めていますが、一部地域住民からは事業に関する懸念や疑問の声を頂いています。そのため、行政の持つ情報を積極的に提供した上で、周辺のまちづくりも含め対話による議論を重ね、理解を得ていく必要があります。次期事業化計画策定の機会を捉え、都市計画道路の必要性や整備効果を広く区民等に伝えていくことが求められます。</p> <p>都市基盤整備の基礎となる都市基盤情報の整備では、権利関係が複雑な都市部での地籍調査に多くの経費と時間を要することから、国や都の補助金の活用により区の財政負担を軽減しつつ、早期完了を目指して調査を実施していく必要があります。</p> <p>西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業及び上井草駅北口駅前広場等整備事業については、地権者などの意向を丁寧に聴き、関係機関と連携して用地取得に努めていく必要があります。また、連続立体交差事業沿線のまちづくりについては、まちづくり協議会等の活動や（仮称）下井草まちづくりラボ、オープンハウス等の開催を通じて、地域の方々と意見交換や意見聴取を丁寧に行っていく必要があります。</p>
--------------	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 ※第2段階評価時に入力</p> <p>今後の進め方 ※第2段階評価時に入力</p>
--------------------------	--

令和7年度 杉並区施策評価シート 1

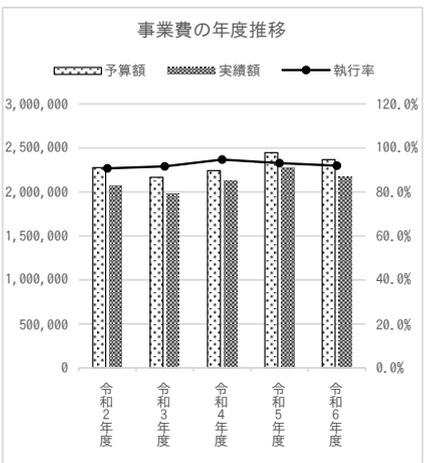
施策	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備
分野	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課

**施策目標**

- 交通DX・交通GXの視点を取り入れたMaasなど、新たな移動サービスの活用等により、多様なライフスタイルに対応した安全で利便性の高い交通体系の構築が進んでいます。
- 区民に自転車の多面的な価値や魅力が浸透することによって、過度に自動車に依存することなく、近距離を移動する際は積極的に自転車が利用されています。
- 自転車を利用する際のルールやマナーが守られることなどにより、区内における自転車に関与する事故の割合は減少しています。
- 安全面と環境面に配慮した交通安全施設の整備が進み、誰もが安全に安心して移動できる環境が整備されています。

指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度
								目標値
活動指標	交通及び自転車関連協議会開催数	回	計画			6	11	令和12年度
			実績	6	6	8	-	
			達成率	-	-	133.3%	-	
	モビリティ・マネジメントに関連する啓発活動回数	回	計画			4	4	
			実績	0	3	2	-	
			達成率	-	-	50.0%	-	
	交通安全啓発活動を実施した回数	回	計画			25	70	
			実績	82	48	75	-	
			達成率	-	-	300.0%	-	
	自転車安全利用等講習会開催数	回	計画			55	56	
			実績	67	70	66	-	
			達成率	-	-	120.0%	-	
成果指標	交通の便が良いと思う区民の割合	%	計画	95.2	95.4	94.3	95.1	令和12年度
			実績	93.5	93	93.5	-	96.8%
			達成率	98.2%	97.5%	99.2%	-	
	分類	区民満足度指標						
	できるだけ徒歩・自転車・公共交通機関を使って移動している区民の割合	%	計画	92.3	92.5	93.1	93.1	令和12年度
			実績	93.1	92.5	94.8	-	93.9%
			達成率	100.9%	100.0%	101.8%	-	
	分類	区民満足度指標						
	区内における交通事故件数	件	計画	804	787	841	789	令和12年度
			実績	893	1,021	1,034	-	678件
			達成率	111.1%	129.7%	122.9%	-	
	分類	社会成果（課題）指標						
区内における自転車関与事故件数	件	計画	351	344	387	355	令和12年度	
		実績	419	526	508	-	297件	
		達成率	119.4%	152.9%	131.3%	-		
分類	社会成果（課題）指標							
分類								
分類								
分類								

	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			事業費	千円	予算額 2,276,274 実績額 2,064,756 執行率 90.7%	2,166,163 1,984,452 91.6%	2,242,123 2,123,283 94.7%	2,446,442 2,277,406 93.1%
人件費	千円	予算額 228,057 実績額 233,679 執行率 102.5%	233,909 250,821 107.2%	247,215 247,631 100.2%	226,812 248,976 109.8%	124,710 284,826 228.4%	265,103 - -	
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額 2,504,331 実績額 2,298,435 執行率 91.8%	2,400,072 2,235,273 93.1%	2,489,338 2,370,914 95.2%	2,673,254 2,526,382 94.5%	2,491,973 2,461,067 98.8%	2,627,306 - -	
国・都からの補助金等	千円	予算額 26,906 実績額 32,831 執行率 122.0%	0 2,764 -	0 3,899 -	26,435 25,638 97.0%	21,660 13,995 64.6%	42,353 - -	
総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%		-4.2% -2.7%	3.7% 6.1%	7.4% 6.6%	-6.8% -2.6%	5.4% -	
人件費比率 (人件費÷総事業費)	%		9.1% 10.2%	9.7% 11.2%	9.9% 10.4%	8.5% 9.9%	5.0% 11.6%	10.1% -



**特記事項**

※Maas: Mobility as a Serviceの略。ICT活用による移動をスムーズにつなぐ新たな「移動」の概念又は様々な移動サービスを1つに統合させた新たなモビリティサービス

※モビリティ・マネジメント: 「過度な」自動車依存から、公共交通や徒歩などを含めた多様な移動手段を「適度に、かしこく」利用する状態へと少しずつ自発的な変容を促す一連の取組

※グリーンスローモビリティ: 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称

※AIオンデマンド交通: 路線やダイヤを定めず、利用者の予約に応じリアルタイムの配車や経路の設定、乗合等をAIが最適化し運行する交通システム

<p>施策の成果</p>	<p>新たな地域交通の整備では、令和6年11月にグリーンスローモビリティの本格運行を開始しました。また、ICT活用による移動をスムーズにつなぐMaaSの取組においては、AIオンデマンド交通の予約・決済機能を搭載した杉並区産MaaSシステムを構築するとともに、令和7年1月より、MaaSの実証実験と併せて、堀ノ内・松ノ木地区周辺にてAIオンデマンド交通の実証運行を開始しました。引き続き、効果測定を継続する必要があるものの、移動の選択肢の拡充に向け、新たなモビリティサービスへの取組が進展しました。</p> <p>自転車活用の推進では、ポスターや横断幕を区立施設や区が管理する防護柵に掲示・設置することで、自転車フレンドリープロジェクトを周知しました。</p> <p>自転車に関する交通安全の取組では、区立小中学校の生徒、区内事業所や私立高校等を対象に、自転車安全利用に関する講習会等を計66回、約6,900人に対して実施しました。その他にも、すぎなみフェスタなどのイベントを活用し、自転車の交通ルールの周知・啓発を行いました。結果として、自転車関与事故件数は、令和5年度と比較すると減少しました。</p> <p>街路灯の取組では、区道上の街路灯（496灯）及び私道上の街路灯（1,023灯）のLED化を行ったことで、環境負荷の軽減に加え、安全に安心して移動できる環境の整備を図りました。</p> <p>自転車ネットワーク路線については、区民や警察等に意見聴取を行った上で、新たに55.0km(総延長108.7km)の路線を追加し、ネットワークを区内全域に拡充することとしました。</p> <p>自転車駐車場については、キャッシュレス決済や定期的電子申請等のDX化に迅速に対応できる指定管理者制度の導入を検討しました。また、杉並区産MaaS「ちかくも」と連携し、実証実験として、荻窪地域の8つの自転車駐車場で満空情報の提供に向けた検討も行いました。</p>
--------------	---

<p>課題の分析</p>	<p>誰もが気軽に移動できる利便性の高い地域交通環境を形成するため、公共交通や徒歩・自転車による移動のつながりを高めるMaaS等の新しい移動サービスを活用するとともに、更なる自転車活用の推進に努める必要があります。</p> <p>そのためには、既存交通やシェアサイクル等の各種サービスをつなぐMaaSを活用し、シームレスな移動サービスの充実を推進する必要がありますが、現在、区のMaaSシステムで主となるグリーンスローモビリティやAIオンデマンド交通の必要性や効果を測定するためのデータ把握の内容や精度に課題があります。</p> <p>自転車関与事故件数は、令和5年度と比較すると減少しましたが、令和4年度の実績ほどには減少していません。</p> <p>交通安全施設の整備については、これまで整備目的の対象を自動車、自転車及び歩行者としてきましたが、シェアサイクル等のパーソナルモビリティが普及してきたことを踏まえ、その対象を拡げて検討をする必要があります。</p> <p>新たな自転車ネットワーク路線については、整備を所管しており、道路実態を把握している杉並土木事務所と連携を密に図りながら、効果的な整備を進めていく必要があります。</p> <p>自転車駐車場については、開設以来、使用料の支払いは現金のみで、定期利用の申請・更新は各現場事務所の窓口でのみ受け付けている状況であり、利用者の利便性の向上のために、キャッシュレス決済や定期的電子申請等のDX化について取り組む必要があります。</p>
--------------	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 ※第2段階評価時に入力</p> <p>今後の進め方 ※第2段階評価時に入力</p>
--------------------------	--

令和7年度 杉並区施策評価シート I

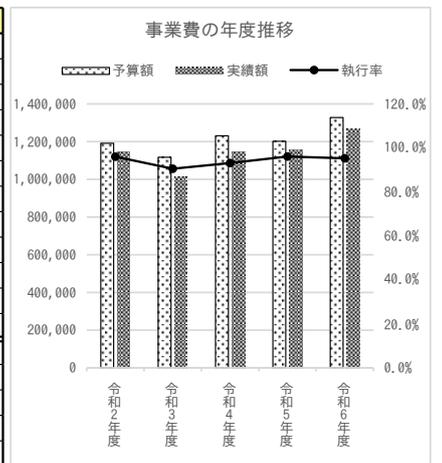
施策	07	暮らしやすい住環境の形成
分野	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 住宅課、市街地整備課

**施策目標**

○地域の特性を生かした居心地がよく魅力的なまちなみが形成されることによって、住宅都市としての価値が更に高まっています。  
 ○ユニバーサルデザインのまちづくりが進められ、誰もが気軽に出かけることができる、暮らしやすく快適で魅力あるまちとなっています。  
 ○住宅の確保が困難な方が入居できる住宅が増えているほか、区内老朽危険空家の除却による安心安全の確保や空家の利活用など、良好な住環境の中で、誰もが暮らしやすく住み続けられるまちとなっています。

指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度	
								目標値	
活動指標	杉並区バリアフリー推進連絡会の開催回数	回	計画	3	2	2	2		
			実績	3	2	2	-		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-		
	景観施策の普及啓発に係る印刷媒体の発行部数	部	計画	67,000	67,000	67,000	57,000		
			実績	67,000	67,000	56,000	-		
			達成率	100.0%	100.0%	83.6%	-		
	マンション管理状況届出書届出件数(累計)	件	計画	528	528	528	525		
			実績	495	505	507	-		
			達成率	93.8%	95.6%	96.0%	-		
	老朽危険空家の除却工事費助成件数	件	計画	5	5	5	5		
			実績	4	2	3	-		
			達成率	80.0%	40.0%	60.0%	-		
成果指標	杉並区を住みよいまちと思う区民の割合	%	計画	97	97	97	97	令和12年度	
			実績	95.9	95	95.4	-	98%	
			達成率	98.9%	97.9%	98.4%	-		
	分類	区民満足度指標							
	まちなみに美しさや落ち着きがあると思う区民の割合	%	計画	82	83	84	85	令和12年度	
			実績	80	78.4	82.6	-	90%	
			達成率	97.6%	94.5%	98.3%	-		
	分類	区民満足度指標							
				計画					
				実績					
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
			計画						
			実績						
			達成率	-	-	-	-		
分類									
			計画						
			実績						
			達成率	-	-	-	-		
分類									

	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			事業費	千円	予算額 1,191,280 実績額 1,143,756 執行率 96.0%	1,117,054 1,011,375 90.5%	1,230,963 1,146,360 93.1%	1,201,814 1,154,785 96.1%
人件費	千円	予算額 184,290 実績額 193,760 執行率 105.1%	178,749 184,808 103.4%	177,806 181,085 101.8%	176,214 190,818 108.3%	207,921 234,446 112.8%	240,965 -	
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額 1,375,570 実績額 1,337,516 執行率 97.2%	1,295,803 1,196,183 92.3%	1,408,769 1,327,445 94.2%	1,378,028 1,345,603 97.6%	1,535,807 1,499,644 97.6%	1,613,358 -	
国・都からの補助金等	千円	予算額 170,937 実績額 135,592 執行率 79.3%	124,280 120,172 96.7%	144,074 136,552 94.8%	133,083 122,337 91.9%	223,296 226,915 101.6%	251,208 -	
総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%		-5.8%	8.7%	-2.2%	11.4%	5.0%	
人件費比率 (人件費÷総事業費)	%		13.4%	13.8%	12.6%	12.8%	13.5%	14.9%
			14.5%	15.4%	13.6%	14.2%	15.6%	-



**特記事項**

<p>施策の成果</p>	<p>「杉並区バリアフリー基本構想」で定めた4つの重点整備地区（荻窪駅周辺地区、阿佐ヶ谷駅周辺地区、富士見ヶ丘駅・高井戸駅周辺地区、方南町駅周辺地区）を中心としたバリアフリー化を具体化するため、令和5年度から令和12年度にかけて各事業者が取り組む内容を定めた「特定事業計画」の進捗管理を、障害当事者や学識経験者、地域団体、関係機関等から構成される「バリアフリー推進連絡会」等を通じて行いました。また、誰もが安全かつ安心して鉄道駅を利用できるように、京王井の頭線久我山駅のホームドアの整備費の一部について、助成を行いました。</p> <p>「杉並区景観計画」については、区を取り巻く状況の変化等を反映するとともに、区民等にとって分かりやすい内容となるよう改定を行いました。また、「杉並景観録」の発行等を通じて、良好な景観づくりに向けた区民等の関心の向上に努めました。</p> <p>住宅施策については、居住支援協議会と連携を図りながらアパートあっせん事業等により住宅確保要配慮者の入居及び居住の安定に向けた支援を行うとともに、不動産団体や賃貸住宅のオーナー等を対象としたセミナーを開催するなど、セーフティネット専用住宅の登録促進に努めました。このほか、空家等対策としては、特定空家等に準じる老朽危険空家の除却工事費助成を行ったほか、民間事業者との協働による「空家等利活用相談窓口」を令和6年4月に開設しました。</p>
--------------	--

<p>課題の分析</p>	<p>ユニバーサルデザインのまちづくりの推進にあたっては、様々な障害を抱える障害当事者からの意見を踏まえ、引き続き各事業者と調整を行い、着実にバリアフリー化を進めていく必要があります。また、魅力あるまちなみの創出には、景観計画に基づく区の取組に加え、区民等が自ら景観に関心を持ち、協働して取り組んでいくことが求められます。このため、改定した景観計画の積極的な周知等により、良好な景観づくりへの区民等の理解と意識向上を図り、「暮らしやすい住環境の形成」につなげていく必要があります。</p> <p>住宅施策については、区営住宅への入居を希望しても入居できていない住宅確保用配慮者への支援が課題となっていることから、民間住宅のストックを活用したセーフティネット専用住宅の確保やひとり親・多子世帯への家賃助成等による安定居住に向けた支援を今後も継続していくことが必要です。また現在、孤独死や残置物処理に対する不安から、単身高齢者の受け入れが困難とする賃貸人も多くみられ、今後単身高齢者世帯の更なる増加が見込まれる中、賃貸人の不安を減らすための取組が重要となります。さらに、良好な住環境の実現を図るため、区内に点在する空家について、適正な維持管理の促進や利活用に向けた取組の推進、相談体制の充実など総合的な空家等対策を進める必要があります。</p>
--------------	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 ※第2段階評価時に入力</p> <p>今後の進め方 ※第2段階評価時に入力</p>
--------------------------	--

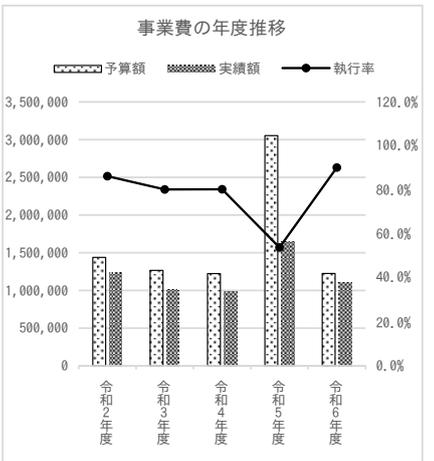
令和7年度 杉並区施策評価シート I

施策	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興
分野	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	産業振興センター	関係課

〇社会情勢の変化に応じた中小企業・創業支援や商店街支援等の取組により、地域経済が活性化されています。  
 〇一人ひとりの状況に即した就労支援が行われ、誰もが多様な働き方を実現しています。  
 〇「杉並」の魅力や価値が更に高まり、その魅力や価値が区内外に発信され、にぎわいの創出につながっています。  
 〇農業者への支援のほか、区民の農業への理解促進や地産地消の推進、農福連携事業などの取組により、都市農地が持つ多面的な機能が発揮され、農地が保全されています。

指標名	指標説明	単位					目標年度	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	
活動指標	融資あっせん件数	件	計画	1,000	1,000	1,000	1,000	
			実績	852	710	731	-	
			達成率	85.2%	71.0%	73.1%	-	
	就労準備相談・心としごとの相談件数	件	計画	2,150	2,150	2,150	2,150	
			実績	1,294	1,714	1,575	-	
			達成率	60.2%	79.7%	73.3%	-	
	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助(イベント事業)件数	件	計画	110	110	100	100	
			実績	56	75	86	-	
			達成率	50.9%	68.2%	86.0%	-	
	農家戸数	農地台帳上の区内農家戸数	戸	計画	125	121	119	119
				実績	121	119	119	-
				達成率	96.8%	98.3%	100.0%	-
成果指標	創業支援による創業者数	件	計画	130	130	180	180	
			実績	162	219	204	令和12年度 180件	
			達成率	124.6%	168.5%	113.3%	-	
	分類	行政サービス成果指標						
	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数	人	計画	850	850	850	850
				実績	495	545	579	令和12年度 850人以上
				達成率	58.2%	64.1%	68.1%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	商店街のイベントに参加したことの割合	区民意向調査による	%	計画	43	44	45	46
				実績	33.7	35	39.3	51%
				達成率	78.4%	79.5%	87.3%	-
	分類	利用者満足度指標						
アニメーションミュージアム来館者数		人	計画	28,000	45,000	50,000	55,000	
			実績	39,124	57,291	49,342	80,000人	
			達成率	139.7%	127.3%	98.7%	-	
分類	行政サービス成果指標							
区内農業産出額(農地面積1ha当たり)	区内農業産出額÷区内農地面積	百万円	計画			7.5	7.6	
			実績	7.5	7.7	7.7	7.7百万円	
			達成率	-	-	102.7%	-	
分類	社会成果(課題)指標							
計画								
実績								
達成率								
分類								

事業費	単位	令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度					
		予算額	実績額	執行率	予算額	実績額	執行率
事業費	千円	1,438,440	1,266,133	1,223,897	3,053,270	1,225,152	1,285,263
		1,240,556	1,015,554	982,675	1,643,304	1,104,605	-
		86.2%	80.2%	80.3%	53.8%	90.2%	-
人件費	千円	206,932	243,462	228,001	233,912	230,389	256,154
		274,169	244,887	249,092	259,545	260,207	-
		132.5%	100.6%	109.3%	111.0%	112.9%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	1,645,372	1,509,595	1,451,898	3,287,182	1,455,541	1,541,417
		1,514,725	1,260,441	1,231,767	1,902,849	1,364,812	-
		92.1%	83.5%	84.8%	57.9%	93.8%	-
国・都からの補助金等	千円	50,422	109,129	153,207	183,467	185,089	182,566
		526,803	228,000	233,228	667,096	154,998	-
		1044.8%	208.9%	152.2%	363.6%	83.7%	-
総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	-	-8.3%	-3.8%	126.4%	-55.7%	5.9%
		-	-16.8%	-2.3%	54.5%	-28.3%	-
人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	12.6%	16.1%	15.7%	7.1%	15.8%	16.6%
		18.1%	19.4%	20.2%	13.6%	19.1%	-



**特記事項**  
 中小企業支援事業では、原油価格・物価高騰等の影響を受けている区内事業者に対し、区の中小企業資金融資のあっせん制度の融資を受けている事業者を対象として、借換特別資金融資を実施しましたが、申請件数が想定より少なかったため利子補給にかかる予算に執行残が生じました。  
 商店街支援事業では、商店街チャレンジ戦略支援事業費補助(活性化事業)が計画の77.0%にとどまったことや、未来を創る商店街支援事業の一部事業を見送ったこと等により、執行残が生じました。  
 農業の支援・育成事業では、農業体験農園の新規開園や防災兼用農業戸などの申請がなかったため執行残が生じました。

<p>施策の成果</p>	<p>中小企業支援では、原油価格・物価高騰等の影響を受けている区内事業者に対し借換特例資金融資を実施し、返済の負担軽減を図りました。また、創業スタートアップ助成は、より多くの事業者が利用できるよう申請条件を見直した結果、令和5年度に比べて申請数の増加につながりました（家賃助成申請数6件増、ホームページ作成助成申請数2件増）。就労支援センターでは、新規登録者数及び就職決定者数ともに令和5年度を上回り、多くの利用者の就労支援につながりました。さらに、同センターのすぎJOB・すぎトレの専用ホームページを作成し、就労支援事業の案内やイベント情報等の周知に向けた取組を強化しました。</p> <p>商店街のにぎわいにつながるイベント事業を86件支援したほか、新たに区単独事業の「商店街トライアル事業」を実施し、同業種の個店による連携事業など計5件の補助を行いました。また、杉並アニメーションミュージアムでは、人気アニメコンテンツを活用した企画展の実施等を行いました。来館者数は令和5年度から7,949人減の49,342人となりました。一方、外国人来館者数が増加傾向にある中、中断していた企画展の多言語音声ガイドの更新を再開するなど外国人旅行者の更なる誘致につながる取組を実施したことで、令和5年度から856人増の6,845人となりました。</p> <p>農業では、企業的農業経営集団活動支援助成を5件行ったほか、農業者等からの意見を踏まえ営農活動支援の補助対象を拡充し24件の助成を行うなど、農業者への支援に取り組みました。また、地産地消を推進するため、区主催の即売会の開催や学校給食「地元野菜デー」を7月、12月に全区立学校において実施するとともに、杉並産農産物の学校給食への利用拡大に向けてモデル校2校を選定し、学校給食で利用する野菜の調整・配送等を試行実施しました。農福連携農園では、障害者施設や子ども食堂への食材提供を37団体に対し延べ300回行うとともに、新たに不登校状態にある区内生徒や認知症高齢者グループホーム利用者による活動の場として活用されました。</p>
--------------	---

<p>課題の分析</p>	<p>中小企業資金融資あつせん事業全体の合計件数は731件で昨年度から横ばいですが、そのうち、小規模事業者を対象とした小規模企業小口資金融資の実績は428件となり、昨年度と比べて約93.4%増となりました。物価の高止まりや金利の上昇、人材不足など、社会経済状況は今後も厳しい状況が続くことが予想されますので、小規模事業者への支援を強化していく必要があります。</p> <p>商店街のイベント事業の助成件数は順調に増え、にぎわいが回復傾向にある一方、役員の高齢化や後継者不足に加え、物価高騰の影響を受けて、活力が低下している商店街も増加しています。今後も、各商店街が抱える課題を丁寧に取り、課題解決に向けた助言を行っていく必要があります。</p> <p>杉並アニメーションミュージアムの来館者は、前年度から7,949人減小しましたが、20代から50代の年齢層を対象とした企画展を実施したことにより、東京都外の遠方からの来館があるなど、広く情報発信することができました。今後も創意工夫を凝らした企画を実施するなど来館者数を増やす取組を積極的に行い、杉並の魅力や価値を高めてにぎわいを創出していくことが求められています。</p> <p>都市農業の維持・継続するために様々な施策を行っていますが、高齢化や後継者不足問題などにより農家戸数及び農地面積は年々減少傾向にあり、令和7年3月31日時点の農地面積は36.2ha、農家戸数は119戸となっています。引き続き、農地の保全や農業人材の確保を図るため、農業者の意向やニーズを的確に把握するとともに、都市農地貸借等の農地制度や農業ボランティアの周知及び利用勧奨を行っていく必要があります。</p>
--------------	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="371 893 850 943"> <p>今後の施策の方向性</p> </td> <td data-bbox="850 893 1495 943"> <p>※第2段階評価時に入力</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="371 943 850 1332"> <p>今後の進め方</p> </td> <td data-bbox="850 943 1495 1332"> <p>※第2段階評価時に入力</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の施策の方向性</p>	<p>※第2段階評価時に入力</p>	<p>今後の進め方</p>	<p>※第2段階評価時に入力</p>
<p>今後の施策の方向性</p>	<p>※第2段階評価時に入力</p>				
<p>今後の進め方</p>	<p>※第2段階評価時に入力</p>				